

# Resusci Junior

レサシジュニア

JAPANESE

取扱説明書



## 新しいレサシジュニア

レサシジュニアをご購入いただき、ありがとうございます。トレーニング機器として高い信頼性を保ったまま長期間ご使用頂く為に、本製品は世界的なマーケットリーダーであるレールダルが培ってきた50年以上にわたるノウハウを集めて作られています。

適切にメンテナンスされた場合は、トレーニングツールとしてより良い状態で、長くご使用頂けます。レールダルのマネキンは世界中で信頼性の面から高い評価を受けています。

レールダルレサシジュニアに関するご質問、ご意見は、弊社カスタマーサービス、営業までご連絡下さい。

### 保証:

同梱されている小冊子Global warrantyもしくは弊社ホームページ <http://www.laerdal.com/> をご参照下さい。




WEEE

Waste Electrical and Electronic Equipment

(電気・電子機器廃棄物リサイクル指令)

本記載はEuropean directive 2002/96/EC Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE)に基づき行われています。

本製品の不適切な廃棄により起こりうる環境被害や人体への健康の悪影響を避けるため、適切に本製品を廃棄して下さい。本製品或いは本製品に添付される書類のこのマークは、本製品を廃棄する場合、家庭廃棄物として取り扱ってはいけないことを示しています。電気・電子機器のリサイクルのための適切な収集場所に引き渡すようにして下さい。廃棄の際は、地域の環境規定に従って行って下さい。本製品の廃棄及びリサイクルに関する詳細な情報は、地域の役所或いは家庭廃棄物サービス或いは弊社カスタマーサービスにお問い合わせ下さい。

 この製品はOEマークを取得していません。又、89/336/EEC;EMC directiveに適合しています。

## 開梱と組立

マネキンがキャリングケースに収納されている場合は、使用前にマネキンを組み立てて下さい。胴体をしっかりした表面の上に置きます。大腿部用固定ボルトを引き抜きます。2本の脚を台座に押し込みます。胴体外殻の開口部から大腿部用固定ボルトを差し込み、大腿部の穴を経由して反対側の胴体外殻の開口部へ通過させ、脚を胴体に固定して下さい。ボルトが紛失しないよう、台座内部へ押し込んで下さい。最後にジャケットとズボンをマネキンに着用させます。

### トレーニングマット

すべてのバージョンのレサシジュニアにはトレーニングマットが含まれています。これは2つの使用目的があります：

- レサシジュニアでBLSをトレーニングする際、受講者と指導者にとって快適さと利便さをもたらします。
- 組み立てたレサシジュニアをクラスルーム/トレーニング開催場所で持ち運びしやすくなります。



### 水中での使用

レサシジュニアを水中でご使用になる場合は、6ページの「水難救助」のセクションをご参照下さい。

### スキルガイド付きマネキン

レサシジュニアスキルガイドモデルをご購入された場合は：

- スキルガイドカバーを取り外します。
- マネキン右側のコネクタースキルガイドのケーブルを接続して下さい。
- スキルガイド背面の電池収納部分から紙のタブを引き抜いて下さい。
- 練習をはじめる場合「ON」ボタンを押して下さい。
- トレーニングマットを用いてマネキンを移動させる場合は、スキルガイドの接続を外し、別に移動させて下さい。

## 使用後の収納

レサシジュニアを水中でご使用になった場合は、6ページの「水難救助」のセクションをご参照下さい。

### ハードケースへ収納

スキルガイドが接続されている場合は、ケーブルの接続を外し、スキルガイドの保護用カバーに収納して下さい。

ズボンを脱がせて次の方法で胴体から両脚を取り外して下さい：

次のように大腿部用固定ボルトを引き抜きます：

- ボルト末端の突き出ている部分に力を加えます。更に力を加え続けてボルトを押し出します。
- ボルトをしっかり握って引き抜きます。

脚が取り外されたら、ボルトが紛失しないように台座の中へ押し込んで下さい。収納ケースに顔面を上にした状態で胴体を収納ケースにしまってください。

濡れ雑巾でトレーニングマットを拭いて汚れを落として下さい。トレーニングマットをビニール袋の中に入れてマネキンの上に置いて下さい。これはマネキンの上のトレーニングマットを埃から避けることとなります。

## スキルガイド

トレーニング中、客観的なフィードバックを受けることは、スキルを伸ばし、高めていくことに役立ちます。スキルガイドは受講者の初期スキルの発展をサポートするために、カラーライトディスプレイにより指導者と受講者にフィードバックを提供します。

### 吹き込み量

肺への吹き込みが200mlに達したら、緑のライトが点灯します。もし肺への吹き込み量が300ml以上の場合、オレンジの警告ライトが点灯します。赤い警告ライトは吹き込みが速過ぎることを示します。

### 胸骨圧迫

胸骨エリアが50mm以上の深さで圧迫されたら、緑のライトが点灯します。

### 不正確な手の位置

胸プレートに取り付けられているスイッチカバーの下に、センサーがあります。推奨されているエリア以外に手が置かれて圧迫された場合、赤いライトが点灯します。下方向の圧迫が胸骨下半分に加わった場合は赤いライトは点灯しません。剣状突起や胸骨上半分、胸骨エリア以外の胸部に下方向の圧迫が加わった場合、赤いライトが点灯します。

	ライト	意味	測定 <sup>1</sup>
換気量:	緑	正しい	200ml
	オレンジ	多過ぎる	350ml
圧迫深度:	緑	正しい	50mm
誤った指位置:	赤	許容範囲外の圧迫	
速過ぎる吹き込み:	赤		

1. 測定誤差: ±15% (標準室温)

### 使用方法

3ページの開梱を参照して下さい。5分間以上、使用されなかった場合はスキルガイドは自動的にOFFになります。

*注: スキルガイドがONで、誤った手の位置の赤いシグナルライトが点灯している場合は、マネキンとの接続が完全でないことを示します。*

### 電源

単二型1.5Vアルカリ乾電池4本で約125時間使用できます。ただし電池の寿命は使い方や電池メーカーによって異なります。

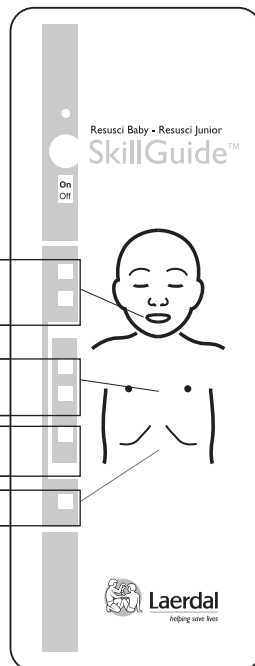
### ケーブルの接続

ケーブルはスキルガイドに直結されており、マネキンに接続する8ピンコネクタが取り付けられています。コネクタは誤った向きでは差し込めないように設計されています。

### 使用上の注意

次の場合はスキルガイドをマネキンから外して下さい:

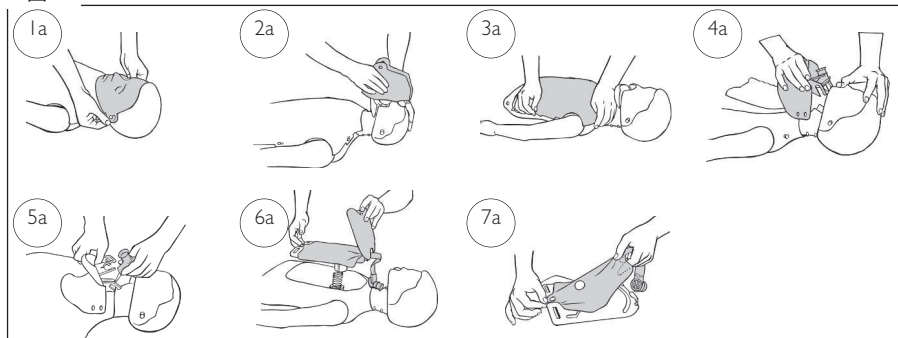
- エアウェイを交換する場合
- 内部の修理を行う場合



# ディスポーザブルジュニアエアウェイ

ジュニアエアウェイは講習後、破棄されるようにデザインされています。

図1



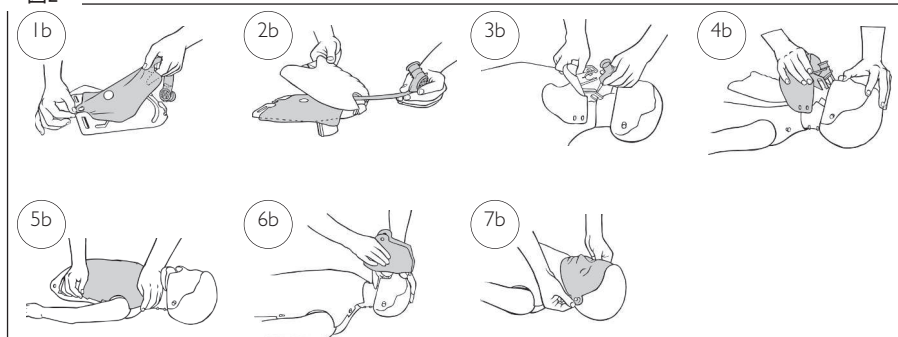
## 取り外し方法（図1）

1. 耳からマネキンフェイスを取り外します。
2. バルブカップリングからマネキンフェイスを持ち上げます。
3. 胸カバーを取り外します。
4. 頭部の柱から下顎を取り外します。
5. バルブを取り外します。
6. 胸プレートを持ち上げます。
7. 使用済みのエアウェイを取り外し、破棄します。

## 取り付け方法（図2）

1. 胴体の上に肺を広げ、フックへ取り付けます。
2. 胸プレートを通してバルブを引っ張り、胸プレートに装着します。
3. 下顎へバルブを取り付けます。
4. 頭部の柱へ下顎を取り付けます。
5. リテーナーの上に胸カバーを固定します。
6. エアウェイバルブにフェイスカップリングを取り付けます。
7. 耳のリテーナーの上に顔を取り付けます。

図2



## 衛生

各受講者に対してマネキンフェイスを個別に用意することをお勧めします。受講者間の感染のリスクを除きます。

受講者が1つのマネキンフェイスを共用することもできますが、受講者が変わるたびにフェイスの消毒を実施して下さい。

## 一般的なマネキンのクリーニング

定例のマネキン消毒は不要ですが、頭部、胴体、胸カバー、トレーニングマットのクリーニングをお勧めいたします。これらを温かい石鹼水で洗い、清潔な湿らせた布で拭き取って下さい。

適切なクリーニングを行うことにより、レサシジュニアを清潔に良い状態に保つことができます。石鹼、洗剤と40℃の湯で手洗い又は洗濯機洗いし、アイロンをかけてください。ドライクリーニングも可能です。

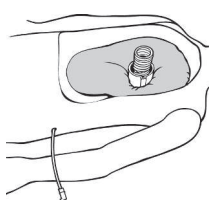
## 水難救助

レサシジュニアは水難救助、蘇生トレーニングができるようにデザインされています。レサシジュニア水難救助訓練用を購入された場合は、使用準備が整っています。オプションの水難救助アップデートキット(184010)は、身体が半分水中に沈んで沈んで浮いている意識消失した溺水者や、プールの底に沈んでいく溺水者をシミュレートすることができます。マネキンは海水や真水の中で使用できます。

### 使用上の注意:

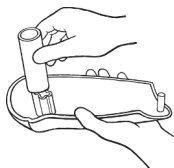
レサシジュニアスキルガイドモデルは水難救助用に使用することはできません。

水難救助用アップデートキット(184010)の取付浮き具は次の手順で取り付けて下さい:



胸カバーのボタンを外し、胸プレート、肺プレートを取り上げます。浮き具を肺プレートの下でコンプレッションスプリングの上にかぶせます。マネキン胴体左側方の穴からチューブを押し出します。

おもりは次のように取り付けて下さい:

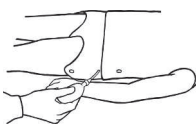


左右の大腿部の4つのネジを緩めます。各大腿部のシリンダー上部からおもりを1個ずつ取り付けてください。大腿部を組み立て直して下さい。

### レサシジュニア水難救助訓練用の使用

水難救助アップデートキットが取り付けできたら、マネキンを分解することなく、空気を注入、排出することができます。

浮かせるための準備:



ポンプ球の送気側をチューブに接続して、18-22回程度しっかりポンプを圧迫し浮き具を膨らませて下さい。チューブをつまみ、ポンプ球を取り外し、ストッパープラグを差し込んで下さい。

マネキンが水中にある時、正しい位置に設定するため、チューブを開いて空気を放出することができます。(例: 水と身体間の角度を30°に調整する)



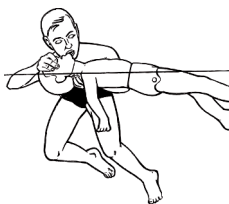
注: 使用後、ポンプ球の脱気側をチューブに接続して、浮き具の脱気を図ります。浮き具からすべての空気が放出されたら、ポンプ球は圧迫しても元に戻りません。この時点で、ポンプ球を取り外し、ストッパープラグに交換して下さい。

### 使用後の収納

水中で使用後、マネキンはよく乾かして保管して下さい。早く乾燥させるためには水からマネキンの腕をもって引き上げて下さい。重力を利用して排水を促すには、数分間、マネキンを直立するように支えて下さい。その後、マネキン外部・内部を乾いた布で拭いて下さい。

次に示すものは水難救助プログラムや競技会で大会や大会蘇生やレサシジュニアの使用例となります。

### 水中蘇生



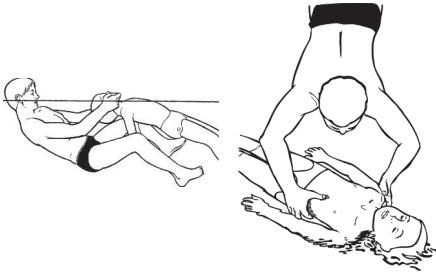
水中にマネキンがある間、人工呼吸を練習することもできます。

### 溺水の認識



浮き具に空気が入っている場合、マネキンは顔を下にして浮き、身体が半分沈んでいます。

## 水面で救助者を牽引



浮き具が使用されていない時、マネキンは沈みます。従ってリアルに牽引して陸上に引き上げる救助手技のトレーニングにもマネキンを使用できます。

もしマネキンを背中を下にして落とした場合、通常は回転して顔を下にした状態で水底へ沈んでいきます。水は頸部の開口部や胴体、四肢の特別な穴を通して内部に浸水してきます。

### 使用上の注意:

レサージュニアは浮き具を設置しないで深い水底に放置しないで下さい。底に沈んだマネキンの救助の際に不便です。

---

### 消耗品

- 151201 マネキンフェイスシールド(6ロール)
- 152400 マネキンワイプ(pkg.50)
- 152401 マネキンワイプ(pkg.1200)
- 020310 LA/LJ用バルブ(50個)
- 183010 ジュニアフェイス(6枚)
- 183210 ジュニアエアウェイ(25枚)
- 183211 ジュニアエアウェイ(100枚)
- 183220 フィルター&肺バルブ無(100枚)

### オプション

- 184010 水難救助アップデートキット
- 184600 異物除去訓練キット

